

2020年7月30日

原料費調整制度に基づく2020年9月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2020年9月検針分の単位料金を、2020年8月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき0.94円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、2020年4月～2020年6月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に34m³のガスをお使いになる標準家庭で2020年8月検針分と比較して、32円(消費税込)ガス料金が下がります。

2020年9月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m ³)	119.28	111.91	104.54
(参考) 8月 調整単位料金	120.22	112.85	105.48

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2020年 8月	2020年 9月	増減
適用料金(円/月)	4,760	4,728	▲ 32

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2020年3月～2020年5月 の平均 (8月検針分)	2020年4月～2020年6月 の平均 (9月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	24,810	23,670	▲ 1,140
LNG	52,840	50,520	▲ 2,320
LPG	40,050	37,020	▲ 3,030
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 2,500	▲ 3,600	▲ 1,100

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{50,520} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{37,020} \times 0.0371 \\
 & & & \\
 & & = & \boxed{23,672.97} \\
 & & & \downarrow (100円未満四捨五入) \\
 & & & \boxed{23,670} \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \boxed{23,670} \text{ 円/t} & - \boxed{27,350} \text{ 円/t} & = & \boxed{\blacktriangle 3,680} \text{ 円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & & & \boxed{\blacktriangle 3,600} \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} & = \boxed{\blacktriangle 3,600} \text{ 円} & / & 100 \text{円} \times 0.0858^{*1} \\
 & = \boxed{\blacktriangle 3.09} \text{ 円}^{*2}
 \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2020年 8月	2020年 9月	増減
適用料金(円/月)	4,760	4,728	▲ 32

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned}
 \text{本体料金(税込)} & = \text{基本料金}(924.00 \text{円}) \\
 & + \text{調整単位料金}(\boxed{115.00 \text{円}} + \boxed{\blacktriangle 3.09} \text{円}) \times 34 \text{m}^3 \\
 & \text{料金改定時の基準単位料金(税込) } \uparrow \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。